

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくらう

山形県 戸沢村

とざわむら 議会だより



2p 12月定例会 **補正予算3,200万円を可決**

2p・3p 議会日誌 総務文教常任委員研修 産業建設常任委員研修

4p~9p 一般質問 村の定住対策の取り組みは 6議員登壇

10p~11p 戸沢中3年生 村への提言! 38名の研究の成果

12p 議会提言書を提出 編集後記

平成29年 12月 定例会

12月定例会は6日から8日までの3日間の会期で行われた。議案は平成29年度一般会計補正予算他5件、条例改正2件、村道認定1件の計9件を審議し、全議案を可決した。一般質問には6議員が登壇し、人口減少対策、今後の財政状況や教育、農業政策について、議論が交わされた。

議案の主な内容

◎平成29年度一般会計補正予算
一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ3200万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ40億2840万円とする補正予算を可決。

歳出の主なもの

・総務費
情報システム管理費の委託料
・地域高規格道路新庄・酒田道路の工事に伴う県道新庄戸沢線の光ケーブルの地下埋設移設工事の増高により245万円。
また、濁沢地区の圃場整備に伴い、光ケーブルが移設となることから33

○戸沢村特別職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
戸沢村一般職の職員の給与の改正に伴い特別職の期末手当の支給率を「100分の165」から「100分の170」に改定するもの。

条例改正

○戸沢村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
公務員給与勧告が出されたことに伴い、人事院勧告・県人事委員会勧告並びに近隣市町村の動向を加味し勤勉手当を「170月」から「180月」に、また、子にかかる扶養手当を400円引き上げるもの。

○村道路線の認定
利用者の交通の利便を図るため、次の路線を認定した。
路線名 松坂天ヶ沢線
延長 1,100m

11月
1～2日 町村監査委員全国研修会
2～3日 議会中央要望会
5日 とざわ旬の市
最上・月山地域砂防記念事業
県町村議会議長会正副会長会
舟形・大蔵・戸沢間道路整備
同盟会現地調査
最上川・赤川直轄改修100周年記念シンポジウム

10月
2日 第5回戸沢村議会臨時会
3日 4町村議会議員交流会
4日 広域事務組合10月定例会
5～6日 村山・最上町村議会議長会
最上広域連合議運、全協
最上地方町村議会議員研修会
村青少年育成村民フォーラム
県町村議会議員研修会
議会広報常任委員会
第6回戸沢村議会臨時会
全国女性消防操法大会報告会
例月出納検査
広域連合議会10月定例会
常任委員会研修(新潟県)
戸沢小中文化祭

議会日誌(10月～12月)



出雲崎町の集合住宅を視察

本村の人口減少を少しでも食い止めるため、10月27日に新潟県出雲崎町の視察研修を行い、具体的な取り組みについての意見交換や若者世帯のための集合住宅を視察させていただきました。

常任委員会報告

総務文教常任委員研修

杯のため、新たな集合住宅の建設を考えておりました。

出雲崎町は、漁業と農業の町ですが、隣接する長岡市には大きな企業もたくさんあり、出雲崎から通勤している方も多いと聞きました。町外から移住してくる方もおり、人口減少対策に歯止めをかけるため、定住・移住対策に各課が連携し実施しておりました。



タカギ農場の社長より概要説明

10月26日に、施設園芸と6次産業に取り組んでいる、新潟市北区のタカギ農場を視察してきました。

産業建設常任委員研修

テレビ等で紹介されてきましたが、行政からレストラン営業が農地法上違法性を指摘され、休業したことなど、ユーモアを交えながらお話をうかがいました。レストランで昼食をとりましたが、平日にもかかわらず、多くの方々が訪れ、外で順番を待つなど大変な賑わいでありました。

議会広報 常任委員研修

9月28日に、町村議会広報全国研修会が、東京都内の砂防会館で開催され、議長、副議長、委員4名が参加してまいりました。

研修会で学んだことを生かし、より親しまれる議会だよりに向け、委員一同務めていきます。

12月
1日 議員全員協議会
6日 12月定例会本会議
7日 各常任委員会所管事務調査
8日 12月定例会本会議
13日 戸沢保育所竣工式
14～15日 最上地方議長会定例会
16日 双葉荘クリスマス会
19日 広域事務組合議会運営委員会
20日 例月出納検査
26日 広域事務組合12月臨時会
27日 戸沢中学校3年生意見発表
共有研究所全員研修会

一般質問

負債残高と今後の予算規模は



岡田 孝一 議員

問 一般会計の予算規模が40億を超えているが、学校建設など大型事業が終わり、30億円台に戻り公債費率が上昇すると考えられます。どの程度想定しているか。

総務課長 現在の試算では、平成34年が償還のピークで16・4%となり、以降減少していくものと考えております。

問 債務の中には、過疎債や一般公債など交付税参入されるものを加味していると思うが、交付税以外の純然たる借入額はいくらかあるのか。

総務課長 おおよそ9億5千万円程度が純然たる返済に当たる金額と試算しています。

問 小中学校や保育所建

設などの大型事業に伴い負債残高が増え、投資的経費に限られる状況下で、村民に対する後年度負担についてどのように考えているか。

村長 これまで、学校建設など大型事業を展開し、今年度ではほぼ終わります。これら事業は、補助金、有利な起債を仰ぎ進めてきました。今後の投資的

事業については、向こう5年間のローリングを行い、役場庁舎の耐震化、村道西沢線の道路改良、小学校のプール整備等が組まれております。投資的の事業を実施するにあたり、自主財源で賄えるよう計画するものの、賄いきれない部分は、交付税参入率の高い過疎債を中心に借り入れを行い、財政運営に取り組みたいと考えています。



完成した戸沢小中学校



集落排水施設の点検

問 本村における上下水道施設については、経年劣化している施設もあると思われ。今後、補修等の維持管理経費が掛かる状況と思いますが、下水道の加入が見込まれないことや人口減少により利用料金が上がっていくと懸念されますが村長の考えは。

村長 設備機器については、修繕更新が必要なものが多くなっております。修繕は迅速な対応が必要であり日々の点検に

努め、円滑な稼働を行っております。使用料に関しては、維持管理費の高騰から改定を検討している市町村もあるようですが、大幅な値上げをして加入者に負担を強いることはできないと考えております。大規模改修に備え、補助事業を充てられるよう機能診断や最適整備構想等を策定し費用の軽減を図り、利用料金高騰の抑制に努めてまいります。

上下水道事業における後年度負担は

一般質問

定住対策の取り組みは



加藤 政一 議員

問 子どもを安心して産み育てていくための出産育児に対する支援の考えは。

村長 母子の絆を深め、安心安全な子育てに向けて、母親教室や新生児訪問指導など様々な支援を実施しており、今後も継続していきます。

30年4月から、0歳児保育が始まります。定員は5名で、入所基準により決定しますが、入所できず村外の施設で受け入れられた場合、差額分を助成することとします。入所できなかつた場合は、家庭の現状を踏まえ公平性の観点から、何らかの支援を今後検討していきます。



戸沢保育所

問 保育所統合に伴う子どもの居場所づくりをどのように考えているか。

村長 統合後の4保育所については、安全性を確保するため危険な遊具は撤去し、子育て広場として当面は活用していきま

また、神田保育所以外の保育所に併設されている児童館につきましては、今後どのような利用が望ましいか多方面から意見をいただき総合的に検討していきます。

問 若者定住モデル事業として運営されている若者総合施設は、経年による老朽化が懸念されるが今後の手立ては。

若者総合施設の今後の手立ては

村長 若者総合施設は、昭和58年に供用開始され、その老朽化が著しい状況を踏まえ、30年度に大規模改修実施設計業務委託に向け検討会を立ち上げていきたいと思っております。

また、簡易宿泊所の若者センターは、入浴施設が無いことや、洗面所、トイレが狭い状況で宿泊数は年々減少しており、今後、若者総合施設の活用を総合的に検討するため、管理運営協議会で方向性を協議してまいります。

医師2名体制は

問 介護予防、健康寿命を考えた場合、地域医療の充実に向け、医師の2名体制を早急にすべきでないか。

村長 渡邊医長も間もなく退職の年齢を迎えることから、医師の2名体制は喫緊の課題であります。医師の確保に向け、県に対して本村の現状を訴えながら、強く要望してまいります。さらに、医療関係者と協議を重ね、大学病院等へ足掛かりを付け、医師の確保に努めてまいります。



渡邊先生と看護師の皆さん

一般質問

人口流出を止める対策は



富樫 義人 議員

問 第4次戸沢村総合計画や「まち・ひと・しごと創生戦略」でも指摘されているとおり、少子高齢化や人口減少に対し、何らかの施策を講じないと、益々人口減少に拍車がかかると思うが、出生数の減少と若者層への流出を止める対策は何か。

村長 4月から10月まで、村外へ転出された方は31人で、その内20歳から39歳までの方は19人います。転出の理由は婚姻等様々ありますが、戸沢村に住みたいが、住む場所がないといった声も聞きます。若者の定住対策として住宅整備について検討しなければなりません。仕事は新庄など他地域へとなるかもしれませんが、「子育ての充実」・

問 どの市町村においても、婚活支援に取り組んでいるが、戸沢村の支援策は。

村長 現在、支援策として、最上地域婚活実行委

婚活に対する支援策は



戸沢村のモデル住宅

「共育の充実」等を訴え、「住んでよし戸沢村」を強くアピールし、人口流出を止める対策を講じていきたいと考えています。

員会での婚活支援を行っており8年目になります。新庄祭直前やクリスマス、バレンタイン時期のパーティー、シングルマザーパーティー等を実施し、



婚活パンフ

述べ787名の参加で123組のカップルが誕生しています。課題はあるものの、今後も連携した取り組みを実施してまいります。

問 やまがた出会いサポートセンターの活用状況と支援は。

村長 本村で5名の方が登録しています。センターでは、3人までのお見合いを可能としており、お見合いに臨む会話や服装などのアドバイスを行うなどの様々なサポートを行っています。村としては、広報紙やパンフレ

ットを設置しながら、未婚者に対し幅広く呼び掛けていきたいと思っております。

問 婚活支援に対する村独自の支援は。

村長 現在、3名の方より結婚サポート推進委員に登録していただき、出会いから結婚までのサポートを行っています。今後の課題としては、昨年まで独自に実施していた婚活色の強い事業に代わり、未婚者が気兼ねなく集える出会いの場の提供を模索していきたいと考えております。

2020年教育大改革の概要は？

一般質問



早坂 信一 議員

問 2020年より日本の教育要綱が大きく変わります。しかしながら現状がどう動いているのか我々一般の村民にはまったく伝わってきません。この流れを受けて村の子供たちへの影響、また、村としての考え方を伺います。

教育長 新学習指導要綱が全面実施されるに伴い、学校教育にも大きな変化が及びます。知識等を実際の社会で役立てることのできる教育。外国語に関する教育等の新設。特別な教育、道徳の新設です。外国語指導助手等を中心に、英語だけでやりとりする授業への対応や中学生の英語検定の全額補助を実施致します。その他に大学入試要

項も大きく変わる中、パソコンを使ったIT教育への対応は。

教育長 パソコンやタブレットになじめる教育を充実していきます。

問 夏休みに大学生を招いての勉強会がとても良

いことだと思う。村塾として強化してはどうか。

教育長 山大フィールドワークの延長で今後も取り組んで行きたい。



戸沢中学校の授業



東京オリンピック・パラリンピックは2020年開催

問 東京で開催されるオリンピック、パラリンピックのホストタウンに、新たな村づくりとして挑戦すべきと思うが、村としての考え方は。

村長 期間、費用の面で対応は困難と考えます。

問 国保発祥の地として

の相互扶助の考え方の原点からも「共生社会実現」を全国にむけて戸沢村を発信すべきでは。

村長 ホストタウンの登録は現状無理でも、今後の村づくりには、大いに必要と考えソフト面で取り組んで行きます。

オリンピックのホストタウンへの挑戦は

一般質問

保・小・中 一貫教育の推進は！



加藤 文明 議員

問 保・小・中一貫教育で「未来を創る共育の推進」とはどのような連携教育を目指すのか伺いたい。

村長 保育所年長児から中学校3年生までの10年間を見据え、年長児から小学校1年生までの入門期、小2から小5までの基礎充実期、小6から中1の発展期、中2から中3の完成期と4つの時期に区切り、それぞれの時期の課題をクリアしながら学びの連続性を重視した教育を進めていきます。一貫教育の構想では、小学校と中学校の切れ目のない連携に加え、保育所と小学校も切れ目のない連携を行い「小1プロブレム」といわれる問題の解消を図っていきます。

現在、特別支援の観点から、4歳児から中学校3年生まで、山形大学教授の訪問観察指導を受けており、一貫した体制のもと取り組みを進めております。将来的には、保育と幼稚園機能を有する「認定こども園」に改組する構想を抱いております。

※小1プロブレム
小学校1年生の児童が幼児教育から小学校教育へ指導が一変する段差を乗り越えられず、集団生活に適應できないで起こす問題行動を指して言う。



古口保育所

担当課との連携は

問 連携共育を目指すとき、担当課の連携をどのように構築するのか。また、担当課の変更も考えているのか伺いたい。

村長 認定こども園に改組した場合、共育課が担当することが健康福祉課と話し合われているところです。

実現のためには、幼稚園教育のカリキュラム、



4月の開園を待つ新戸沢保育所

問 保育所の職員体制はどのようになるのか伺いたい。

村長 平成30年度から0歳児保育も実施します。正職員8名、臨時職員10名の18名で保育を行う予定です。調理員は正職員2名、臨時職員3名の5名により給食の提供を行っていきます。

また、アレルギー体質の園児には、調理室内に別の調理スペースを設置しており万全を期して対応しています。保護者の皆様には安全かつ安心して子どもを預けられる体制を維持してまいります。

保育所の職員体制は

保・幼・小一貫教育の計画策定と認定こども園担当者の職員配置が必要となります。これらの課題に担当課と連携して取り組んでまいります。

これからの村の 農業振興策は！

一般質問



小野 宏 議員

問 30年産から、減反廃止になり、今後、村として農業の振興と強化をどのように図るのか。

村長 県において、需要に応じたコメ生産を推進するため「生産の目安」を算定し、地域農業再生協議会を通して生産者に提示していきます。

今後、需要に応じた生産が重要となりますので、平成30年度より、畜産クラスター事業を実施することにより、豚肉の販売、加工品の開発、飼料用米の導入や堆肥を利用した米の特別栽培、新規園芸作物など地域農業の振興と活性化を図っていきます。

問 養豚事業の開始により、完熟堆肥が無償で供給されるようですが、有効に活用するため、各地



養豚場敷地内の直売所(宮城県内)

効に活用するため、各地区に実証圃を設け、データの実績を行い農家に周知してはどうか。

村長 畑地化に向けての完熟堆肥の成分分析は完了しています。今後は、主食用米、飼料用米、特別栽培米として有効活用を図るために、平成30年度に農業振興協議会で、北部、中部、南部の3地区に実証圃を設け進めていきたい。

問 休耕田、遊休地を無くすためにも作付けを再開させ、農業収入の向上と財政確保を図るべきと考えますが村長の考えは。

村長 今後、村として継続した支援をするために、水田畑地化や基盤整備事業を行ってまいります。

米の直接交付金10a当たり7,500円が廃止されますが、主食用米の受給見通しが年々厳しい状況下であり、需要に応じた米生産への対応が必要で、国等の支援制度を活用し、米生産を基本に据え、地域条件を最大限に活かす適地適作による水田フル活用を推進するために、農業団体、行政が一体となる取り組みを行ってまいります。

農災法 収入保険の手続きは

問 収入保険の加入対象と受付期間、また、周知をどのように行うのか。

村長 加入申請手続きは、農業共済組合が窓口になります。青色申告をしていない農業者の個人、法人が対象となります。申請

手続きは、30年10月から、法人は事業年度の3か月前の加入手続きです。村としても、2月中旬から経営所得安定対策の集落座談会を開催しますので、合わせて説明を行い周知を図ってまいります。



増水による災害

戸沢中3年生 村への提言!

去る12月26日に、戸沢中学校3年生38人による、「村への提言」の会が開催されました。小学校から合わせて9年間、地域の人々から学ぶ地域学習を続けてきた戸沢村がどのような村にならなければならないのか、どのように活性化していったらいいのか、一人一人が調査研究した成果を具体的なゴールを思い描きながら発表しました。この会は今年で4回目の会になります。

生徒達はコンピュータを駆使し、自分の思い描く戸沢村を数枚の大判用紙にまとめ、村議会議員と渡部村長、各課長、教育委員他多数の来賓が見守る中、堂々と発表していました。その姿は大変頼もしく感じられ、将来の戸沢村を背負って行ってくれるだろうと安心しました。発表のテーマは以下のように、自分の足下を見つめ、将来への夢を語るものが多く、聞き応えがありました。一例を紹介します。



〈荒川 龍さん〉
「戸沢村の知名度を上げ、村にもっと若者を！」

若者を村に呼び込むために、若者に人気のあるもので戸沢村をアピールできないかと考えた。具体的な案としては、「世界的人気ゲームとコラボする」というもので、ゲームのキャラクターと幻想の森とのコラボによるご当地キャラクターづくりや、幻想の森を舞台に、ゲーム音楽を演奏する「幻想の森音楽祭」を開催し、SNS等を活用し集客することで、村を活性化していくことができるのではないか。

〈木村 慧真さん〉
「観光客や転入者を増やし、活気あふれる戸沢村に！」

四季別の観光コースをつくり、戸沢村ならではの魅力を発信していくことで、村の活性化を図り、他県からの注目度も高めていきたいと考えた。戸沢中生を対象にしたアンケートの結果をもとにした1泊2日の村の魅力満喫プランや廃校を利用したホームステイ体験を大々的にPRし、観光目的だけではなく、村民となってもらえるような働きかけを積極的に行ってみてはどうか。

〈柿崎 怜さん〉
「廃校を有効活用し、本格的な映画を楽しめる村に！」

最上地区に映画館がないことに着目し、廃校を使った映画上映プロジェクトを考案。費用面にも配慮し、ネットサービスを利用した、初期費用のからない上映方法で運営することにより、実現する可能性を高めた。野外上映を立ち上げたり、村内の様々なイベントとの合同企画を行ったりすることで、この村にしかない楽しさや魅力を発信してはどうか。

紙面の関係で全部を紹介できないのが残念ですが、来年も開催を予定しておりますので、是非参加してみてください。

No.	氏名	課題	ゴール
1	秋保 太陽	スポーツがさかんな戸沢村。	戸沢村野球場をより利用しやすくする。
2	安食 優羽	野生動物が安全に暮らせる自然豊かな戸沢村。	野生動物が安全に暮らせる自然豊かな戸沢村。
3	安食裕一郎	交流を通し発展する戸沢村。	観光と映画による交流の企画。
4	荒川 周人	野生動物が安全安心な戸沢村。	道路脇に植物を植え、道路に動物が近づかなくなる。
5	荒川 譲	観光スポットを活かし、観光客を増やそう。	観光スポットへの道を整備したり、魅力を伝え観光客を増やす。
6	荒川 龍	戸沢村の知名度を上げる。	若者を狙った場所・企画をつくる。
7	荒木くるみ	子どもが活発な戸沢村。	各地区に設置されている公園を整備し、楽しく運動出来る環境を作る。
8	市川 愛美	地域の人々との関わりを増やし、自然とふれあう戸沢村。	子どもから大人がともにボランティア活動を行い、自然と人々の関わりを築く。
9	伊藤 帆南	安心して運動ができる戸沢村。	多目的運動場を今よりも使いやすくする。
10	大山 心音	戸沢村の魅力をたくさんの人に知ってもらう。	戸沢村の観光地をポスターにして戸沢村の魅力を県内外に広めていく。
11	柿崎 怜	戸沢村を目的に来る人を増やす。	廃校を利用して映画を上映する。
12	加藤 瑞穂	観光客がたくさん訪れ、魅力あふれる戸沢村。	今ある自然を守り、緑豊かな観光地にする。
13	木村 慧真	観光客、転入者を増やし、活気あふれる戸沢村。	四季の観光コースをつくり、戸沢村の魅力を発信していく。
14	蔵津 涼	戸沢村の安全を守る。	街路灯を設置し、歩道を整えて村民の安全を守る。
15	小玉 修大	小中一貫教育校にふさわしく、さらに過ごしやすい学校。	3年間すごして不便なところを直す。
16	齊藤 天人	戸沢村の観光地や観光スポットをもっと広げる。	広めるために、観光地や、観光スポットのPR動画を作成。
17	齋藤 辰弥	冬の自然が際立つ戸沢村。	雪国の良さを世界に発信し、イベントを活性化させ、地域振興を図る。
18	齋藤 将	のびのびと運動できる施設を作る。	運動施設を補修・整備する。
19	斉藤 美羽	地域の人との関わりがある、色とりどりの戸沢村。	戸沢村で話し声が聞こえて、戸沢村全体が花で作られたアートになる。

No.	氏名	課題	ゴール
20	佐藤 将	気軽に運動出来る場所を増やす。	戸沢村にアスレチックを設置する。
21	佐藤 美鈴	廃校になった旧神田小学校の活用方法を考える。	旧神田小学校を開放し、交流施設にする。
22	清水 駆流	人口を増やし、活気のある戸沢村。	スーパーマーケットを作り、その中で年中行えるイベントを作ることで、住んでくれる人口を増やす。
23	須藤希津功	運動する機会を増やし、体力向上を目指す戸沢村。	運動するイベントを増やし、運動に親しみを持ってもらう。
24	土田 莉乃	人と動物がふれあう戸沢村。	空き校舎とグラウンドを再利用し、人と動物がふれあえる施設やドッグランをつくる。
25	二戸部 陸	運動が活発な戸沢村。	廃校を利用して、村をアピールする施設を作る。利用し、施設を充実させる。
26	バゴト アキジュハイラ	戸沢村の美しい川と緑を観光客に知ってもらう。	多国語のガイドブックを作って美しい川と緑の戸沢村を多くの人たちに観光してもらう。
27	早坂 拓輝	渓流で活気あふれる戸沢村。	山女魚や岩魚を各川の上流で放流する。
28	星川陽菜乃	戸沢村村民が自ら行動するボランティアによって、きれいで豊かな自然維持を。	ボランティア活動を盛んにして実行する。
29	皆川 雅香	知名度を上げ、活性化を図る戸沢村。	戸沢村の伝統文化などを活用し、チラシやガイドブックを作り、観光客を増やす。
30	矢口 心夏	豊かな自然を生かし、観光客でにぎわう戸沢村。	戸沢村ガイドブックを作成し、各観光スポットの知名度を上げ、観光客を増やす。
31	矢口 輝	人でにぎわう戸沢村。	廃校を利用したり、イベントをして観光客をたくさんよび、戸沢村をにぎわうようにする。
32	矢口 雅	戸沢村の豊かな自然を守る。	どんどん減っていく、森を守る。
33	八鍬亜美香	笑顔あふれる戸沢村。	子どもから高齢者までが楽しめるような公園を作る。
34	八鍬 天音	自然豊かな戸沢村。	自然を楽しむ写真撮影会の企画。
35	山崎 瑞帆	廃校を利用する。	廃校を利用して、村をアピールする施設を作る。
36	山崎 悠馬	戸沢村の自然で活気ある村にする。	自然に興味を持ってもらう。
37	横山 まや	若者の人口を増やし、活発な戸沢村にする。	若者の人たちが積極的にボランティアに参加し戸沢村の良いところを広げる。
38	横山 廉斗	サクラマスの遡上が多くなる川にむけて。	川をきれいにし、サクラマスの遡上しやすい川を作る。

議会提言書を提出

平成30年度の予算編成期にあたり、地方創生調査研究特別委員会、並びに議員全員協議会において意見をまとめ、平成29年12月25日に村長に対して提言書を提出しました。2月28日を回答期限として提言書の内容は次のとおりです。

1、企業誘致と地元企業支援強化による雇用促進

安心して生活できる村づくりの必須条件として、本村独自の企業誘致、並びに広域連携による企業誘致の積極的な展開と地

元企業に対する支援策の更なる強化。

2、農業振興施策

① ライスセンターの活用を図るため、需要拡大が期待される飼料用米の受け入れ施設として早急に整備を図る。
② 水稲依存の高い農業経営から高収益作物を中心とした営農体系への転換の推進。

3、人口減少対策

① 出生祝い金の増額や子育て支援住宅などインパクトのある支援策の検討。

② 空き家バンクの設置や収入に関係なく入居可能な住宅整備と宅地供給施策との検討。
③ 婚活対策は、最上地域全体で実施しているが、村独自の婚活支援の強力な推進。



議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

3月7日(水)から13日(火)

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局72-2113にお問い合わせください。

表紙の言葉

戸沢小学校6年生28名の皆さんが、12月6日に戸沢村議会12月定例会の傍聴に来てくれました。表紙は、議場での記念写真です。これを機会に、戸沢村の将来について考える一助となればと思います。

編集後記

議会だより愛読者の皆さん、本年もよろしくお願ひ致します。年が明けても近隣諸国が相変わらず騒々しく心配が絶えないところでは。

今冬は、近年にないドカ雪になったり、冬には珍しい大雨が降ったり、気温の変化が激しいようですので、体調管理には充分注意しましょう。

私たち広報委員は、皆さんから負託された要望や議会活動の報告等を読みやすい編集をして行きますので、引き続きご愛読をお願いいたします。

広報常任委員会

副委員長 田中 奨